

所属 創成科学研究科 基盤科学系専攻 情報科学科コース 2年
氏名 花木 勇太
派遣期間 2018年12月2日～2018年12月10日
配属先 Telkom University (インドネシア)

はじめに

私は2018年12月2日から12月10日にかけて、インドネシアのTelkom大学に短期留学をし、通信理論及び現地の生活についてたくさんのことを学んだ。

スケジュール

12/2 (日)	出発(福岡空港→香港国際空港→クアラルンプール空港)
12/3 (月)	移動日(クアラルンプール空港→フセイン・サストラネガラ空港)
12/4 (火)	大学案内・研究室訪問
12/5 (水)	研究見学・意見交換
12/6 (木)	異文化交流(小学校~高校)
12/7 (金)	プレゼンテーション・市内観光
12/8 (土)	休日(買い物)
12/9 (日)	移動日(フセイン・サストラネガラ空港→クアラルンプール空港→香港国際空港)
12/10(月)	帰着(香港国際空港→福岡空港)

研究

受け入れ先の研究室では、5日にメンバーの研究内容についてディスカッションを行った。インドネシアの公用語はインドネシア語だが、ほとんどの学生が英語で話すことができるためレベルの高さを感じた。7日には英語を使用して自分の研究について1時間程度発表した。日本のゼミとは違い、スナックを食べながらリラックスした環境で発表をした。発表では各スライドでわからないところを質問されるため、英語を話す力が身に付き研究内容を考察する貴重な時間となった。



プレゼンテーションの様子

生活

現地では **Telkom** 大学内にある留学生専用の寮に滞在した。インドネシアの気温は 28℃ 程度あり、雨季だったためジメジメしていた。食事は主に大学内にあるカフェテリアを利用するかストリートフードを利用した。味付けは辛いものが多くスパイスを抜いてもらう必要があった。移動はバイクに乗せてもらうことが多かった。日本と交通の違いを比べると、インドネシアではバイクの量が桁違いに多く、大きな道以外では白線や信号などは見かけることがなかった。そのため、道中では現地の人々が立っており信号の変わりになることでチップを貰っている人達もいた。

6 日には小学校から高校までの一貫校へ訪問して、全校生徒の前で日本の文化や学校について話をした。生徒達はアニメや音楽などの影響で日本に対して興味を持っている子が多かった。そのため、日本語で話せる子もいてとても驚いた。



道路の様子



食事の様子

感想

約 1 週間という短い期間だったが **Telkom** 大学への留学はとても良い刺激となった。初めて 1 人で海外へ行くということもあり、とても不安が大きかったが思い切って挑戦してみても良かったと思う。英語は苦手だったが、現地の人達は真剣に耳を傾けてくれるためコミュニケーションをとることは困らなかった。しかし同時に不自由なく英語を話せるようになりたいと思うようになり、グローバルへの意識が身に付いた。

最後に、**Telkom** 大学でお世話になった **Anwar** 教授や学生の皆さん、山口大学関係者の方々に心より感謝申し上げます。